

2021年 困った人にやさしい政治

オール野党で政権交代を



新型コロナの感染拡大でも「GOTO」に固執し感染爆発に無策。75歳以上の高齢者に医療費窓口2割負担など自助・自己責任を押しつける冷酷な政治。学会会議「人事介入」など問答無用で批判を抑え込む強権体質。国会でのペーパー棒読みの答弁・・・菅政権の危険性と政権担当能力の欠如が明らかになっています。

日本共産党は2021年を、オール野党で政権交代を果たし、希望ある新しい政治を実現する年にするため、新年からスタートダッシュでがんばります。

日本共産党江南市委員会、江南市議員団



衆議院愛知10区
いたくら正文



衆院議員
もとむら伸子

比例東海ブロック予定候補

党県青年学生部副部長
長内 史子

前衆院議員
しまづ幸広

願いが一步前進

長期休み中の学童保育、6年まで拡大

学童保育の対象学年が、来年度から、夏休みなど長期学校休業日の利用に限り6年生まで拡大されます。学童保育を考える会の皆さんや日本共産党議員団が繰り返し要求してきた要望がようやく実現します。市は拡大する5,6年生の保護者の就労要件を「4週間平均16日以上」から「4週間平均20日以上」と厳しくする方針です。利用できなくなる家庭のないよう配慮が必要です。

老朽化した老人福祉センター建て替えへ



12月議会で、入浴施設や空調設備をはじめ老朽化が著しい、築45年の老人福祉センター・中央コミュニティセンターを建て替えるため、早急に整備案を取りまとめ提示する方針が明らかになりました。党議員団は建て替えを急ぐよう求めてきました。

小学校35人学級実現へ

少人数学級を求める国民の運動が、ついに政治を動かし、小学校で35人学級が段階的に実現します。速やかな全学年での実施や中学校の35人学級を求める運動が必要です。



事業スクラップ

財政難を理由に必要な市民サービス削るな

江南市は、深刻な財源不足対策のため毎年8億円の事業スクラップで市民に痛みを押しつけようとしています。

中味は、木賀公園コミュニティプールの廃止、国保税値上げにつながる国民健康保険特別会計への繰り出し金の削減、低所得者のヘルパー利用料半額助成の縮小、心身障害者扶助料の支給要件やがん検診自己負担金の見直し、道路維持補修費の削減など、市民負担増、サービス後退につながるものが並んでいます。

行事では健康フェスティバルや文化講演会の廃止、こどもフェスティバルや環境フェスタ、消費生活展の休止など大ナタ。

一方、大きな事業は先送りや起債（借金）への財源変更が大半で、不要不急事業の根本的な

縮小や中止にはなっていません。

原因と責任を明らかに

布袋駅付近鉄道高架や関連事業、新体育館、布袋駅東開発、新ごみ処理施設など身の丈に合わない巨額の事業を、短期間に集中させた計画性のなさ、老朽化が深刻な公共施設への危機感の欠如に原因があります。国の悪政や急な政策変更により振り回された面もあったとはいえ、歴代市長等の責任は明らかです。

コロナ禍で痛めつけられた市民の暮らしを支え、必要な市民サービスを拡充することを最優先にし、過大な道路整備や大型事業の思い切った縮小・中止で財源を確保せよと、日本共産党議員団は主張しています。

2021年度予算要望書を提出



日本共産党江南市議員団と江南市委員会は11月、澤田市長に対し45項目の予算要望書を提出し実現を求めました。

市政へのご意見や困り事など、お気軽にお寄せください。

かけのまち子 (53-7727) みわ陽子 (54-6712)
森ケイ子 (57-2753) 東よしき (54-7977)



2021年1月号 NO. 476
日本共産党江南市委員会

あすの江南